

越谷市一般廃棄物処理基本計画策定に係る基本方針の検討について

基本方針1

修正前

市民・事業者との協働による資源循環の推進

市民・事業者・行政が連携し、ごみの減量・資源化などに取り組む。また、それぞれの役割や責任を果たす中で相互協力し、SDGsの理解促進・行動変革を推進することで循環型社会の構築に取り組む。



修正案

市民・事業者との協働による資源循環の推進

市民・事業者・行政が連携し、ごみの減量・資源化などに取り組む。**さらに**、それぞれの役割や責任を果たす中で相互協力し、SDGsの理解促進・行動変革を推進することで循環型社会の構築に取り組む。

基本方針1についての委員からの意見

NO	意見
1	趣旨は賛同。フレーズに市(または越谷)を入れるのはどうか。市の方針だから、不要とも考えられますが。
2	最初の文章と次の文章は、内容的に同じことを言っているのではないか？そうならば、「また」を除き、最初の文を少し言い換えたことにする？
3	見出しタイトル: 市民・事業者・行政との協働による資源循環の推進(行政も入れた方がみんなで取り組む姿勢が見える)
4	『市民・事業者・行政が連携し、ごみの減量・資源化などに取り組む。』連携することは重要。どのように連携するのかを計画の中で見えるようにしていただきたい。。
5	『SDGsの理解促進・行動変革を推進することで循環型社会の構築に取り組む』の所をわかりやすい表現にしてほしい。
6	「資源循環」については、かなり意識普及していますが、SDGsの内容を理解してもらえよう市が広報等で広める必要がある。

越谷市一般廃棄物処理基本計画策定に係る基本方針の検討について

基本方針2

修正前

事業者による主体的なごみの減量化・資源化の促進

事業者が積極的にごみ減量やリサイクル推進に取り組み、排出量の多い卸売・小売業に向けた減量化・資源化マニュアルの作成や資源化業者と事業者を結ぶコーディネートを行うことで、ごみ処理の適正排出を強化し事業系ごみの減量を推進する。



修正案

事業者による主体的なごみの減量化・資源化の促進

事業者は積極的にごみ減量やリサイクル推進に取り組む。市は排出量の多い卸売・小売業等に向けた減量化・資源化マニュアルの作成や資源化業者と排出事業者のコーディネートを行い、ごみの適正排出及び資源化を促進する。

基本方針2についての委員からの意見

NO	意見
1	「行政」を「市」、「ごみ処理の適正排出」を「ごみ処理の適正排出と資源化」へ表現の修正
2	文章が長く、わかりにくい。少なくとも2つに分ける方がよい。(例)事業者は、……に取り組む。行政は……を行い、……を推進する。
3	事業活動に伴う排出者責任が重要であり、CSRにもつながるので、責任を訴えるのが重要かと思えます。
4	事業所でも既に減量・資源化に取り組んでいるが、資源化業者に回らずに焼却場に搬入されてしまう古紙類もあると聞いたことがある。資源として活かされるようお願いしたい。また、個人事業者さんが家庭ごみ排出とせず、事業者としての減量・資源化に取り組みやすい仕組みづくりが必要かと思えます。
5	”排出量の多い”…各事業者は排出量を把握しているのか？マニュアルに具体的な数値(排出量が多い)を示すのか？同時に、多量排出事業者届け出制度(減量計画・実施状況報告)を制定してもよいのでは。ごみの種類と排出量を把握できれば、コーディネートにつながると思えます。
6	事業者は小売り業を主体に想定していると思うが、外食店などは移出量の多い業種についても想定できるような説明が必要ではないか。また、事業者からのごみの種類はどのようなものかなどはマニュアルに記載されますか。
7	事業者から出るごみの内容を分析し、特に増えたごみの種類を絞り、対策を練る。
8	現状は事業者がごみ処理業者に委託して処理している。処理コストについては、業者間でごみの量等にて決めている。分別方法や資源化マニュアルの作成方法はあまり考えていないのでは？この事をコストを含めて、行政側が積極的に進めていくことが、事業系ごみの減量を推進できると考えます。

越谷市一般廃棄物処理基本計画策定に係る基本方針の検討について

基本方針3

修正前

適正なごみ収集・処理システムの構築

将来を見据え、高齢社会に対応したごみ収集・処理システムの整備に取り組む。また、市民や事業者の輪を拡げ、地域と連携したごみ集積所の管理、まちの美化などに取り組む。さらに、災害廃棄物の処理計画や業務マニュアルの見直しを行う。



修正案

適正なごみ収集・処理システムの構築

将来を見据え、高齢社会に対応したごみ収集・処理システムの整備に取り組む。また、市民や事業者の協力のもと、地域と連携したごみ集積所の管理、まちの美化などに取り組む。さらに、災害廃棄物の処理計画や業務マニュアルの見直しを行う。

基本方針3についての委員からの意見

NO	意見
1	3つの文章は、行政の取り組みについて記述されているようである。そのため、2番目の文書も、主語をはっきりさせるため、「市民や事業者の協力を得て」などのような表現が適切なのでは？
2	生活系可燃ごみの処理は、組合単位で行っており、他の自治体との協力が不可欠である。『近隣の自治体との連携』についても触れた方がよいのでは。
3	”将来を見据え、高齢化・・・に取り組む”＝業務マニュアルの見直しなのかと思いました(重複する必要はないのでは)。
4	”市民や事業者の輪を広げ、地域と連携したごみ集積所の管理”とは？・・・街のお店(中小限定)に対しては、委託収集も考えるという意味なのでしょうか？収集効率が良くなるならば良いことだと思います。
5	現時点でのごみの量と処理能力のバランスは、うまく調整されているのでしょうか？
6	適正なごみ収集・処理システムについて、市民の理解・協力が得られる説明(別な資料にあるかもしれませんが)が必要と思います。
7	ごみ集積所の利用者が助け合うのがベストかと思います。10年後のご近所は高齢化が進みきれいごとでは済まされないだろう。そういう中でもお節介おじさん、おばさんが活躍できる助け合いシステムがあってもよい。
8	①ごみの収集・処理、②集積所へのまとめ方・出し方、③日常生活上のごみの減量・再利用等を理解するように市民が意識を高める。④買い物時の減量の意識。①～④へさかのぼった各段階での市民と事業所の意識向上を働く。
9	自治会に加入していない世帯のごみ置き場の使用問題等、トラブルになっているケースが多い。リサイクルプラザとして、自治会加入を推進して欲しい。今後、高齢化社会に伴い、越谷市災害時要援護者を各自治会で把握しています。これを使用して、ごみ出しのできない高齢者に各自治会の班ごとの支援等を構築する必要があるのでは？それには、ごみ置き場の構造も自治会で異なっているので統一し、市が設置する。各自治会へのお願いばかりではなく、市も自治会にあめ玉を加えながら、積極的にごみの減量・資源化を進めることが必要と考える。